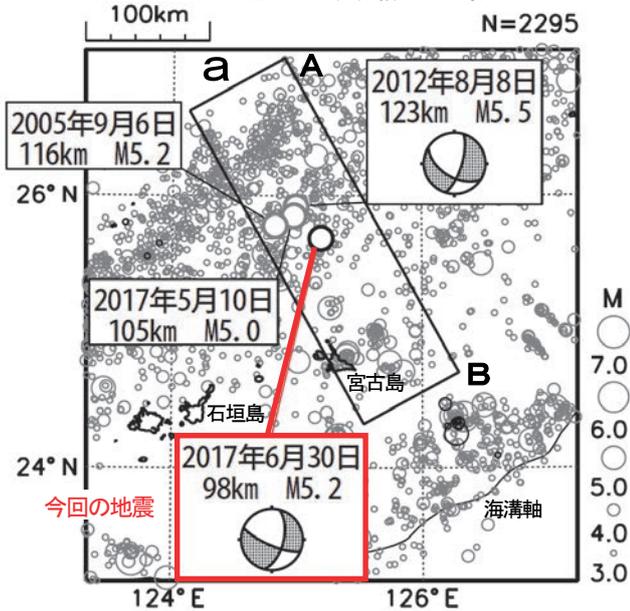


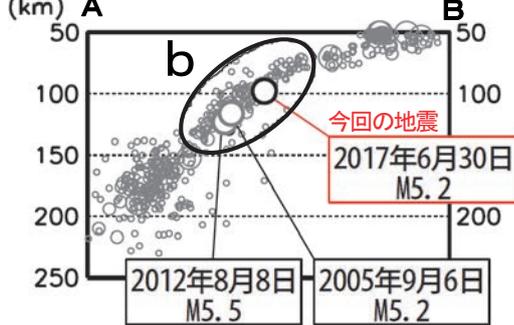
6 月 30 日 宮古島北西沖の地震

震央分布図

(2000 年 7 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
深さ 50km～250km、 $M \geq 3.0$)
2017 年 6 月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解

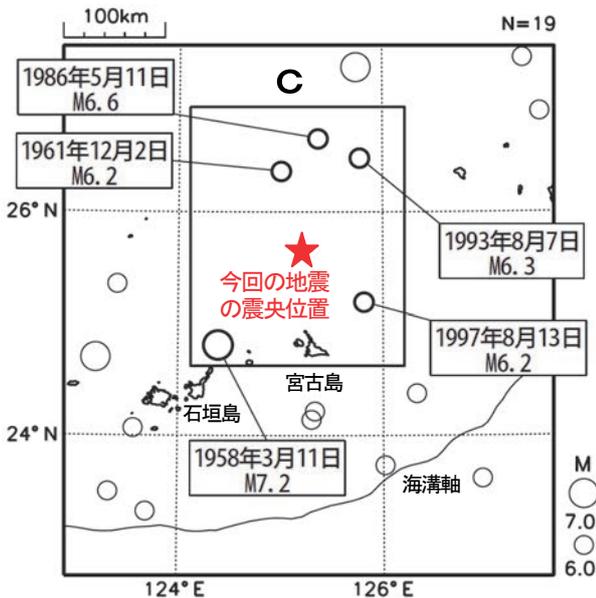


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

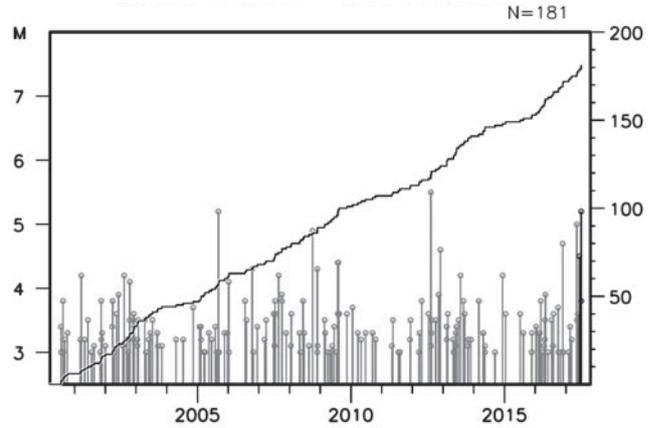
(1923 年 1 月 1 日～2017 年 6 月 30 日、
深さ 50km～250km、 $M \geq 6.0$)



2017年6月30日23時04分に宮古島北西沖（宮古島の北約100km）の深さ98kmでM5.2の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、フィリピン海プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

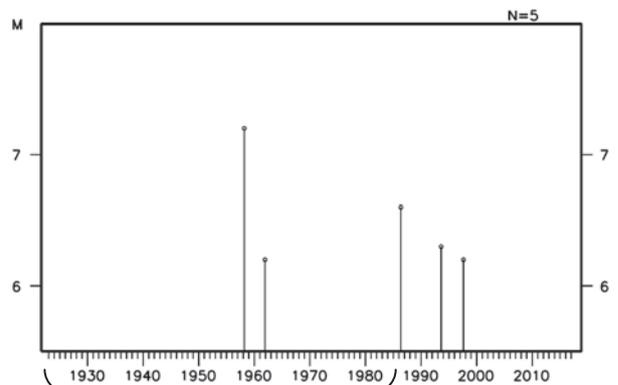
2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1958年3月11日にM7.2の地震（最大震度5）が発生し、石垣島と宮古島で死者1人、家屋破損、道路、護岸などの陥没・決壊などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域 c 内の M-T 図



(この期間は検知能力が低い)